

IV 1993年度の調査研究

1. チームAの調査研究

「アメリカ合衆国と日本の小学生の生活

～地域の自然環境と生活とのかかわりを通して～」

2. チームBの調査研究

「中学生の世界～日本とアメリカの学校生活の違いの比較～」

3. チームCの調査研究

「子育てにみるアメリカ人の理想

～しつけや日常生活からみた日米の比較～」

4. チームDの調査研究

「地域の人々の生活」

5. チームEの調査研究

「ノースカロライナ州の農民の生活」

アメリカ合衆国と日本の小学生の生活

～地域の自然環境と生活とのかかわりを通して～

| | |
|--------------|-------|
| 広島大学附属東雲小学校 | 富村 誠 |
| 広島市立本川小学校 | 庄野 英憲 |
| 島根県島根町立野波中学校 | 田尻 悟郎 |

(1) 研究テーマ

アメリカ合衆国と日本の小学生の生活
～地域の自然環境と生活とのかかわりを通して～

(2) スーパーバイザー

ジョン・スウォープ博士
レベッカ・ブレント博士

(3) 研究メンバー

富村 誠（広島大学附属東雲小学校）
庄野 英憲（広島市立本川小学校）
田尻 悟郎（島根県島根町立野波中学校）

(4) 研究目的

第1の目的は、次の2点のねらいを達成することができるような、アメリカの小学生の典型的な一日の生活の様子を紹介する教材を開発することである。

- ① 自分自身の個性を育てることの大切さや、友達に感謝することの大切さを学ぶことができるものであること。また、異なる考えをもった仲間と協力することの大切さを学ぶことができるものであること。
- ② 放課後の活動によって、個性を育てたり潜在的な能力を発見したりすることができるということを学ぶことができるもの。

第2の目的は、イーストカロライナ大学やウィンターグリーン小学校と我々との間の教材開発のためのネットワークを作ることである。日米両国の子ども同士が相互によりよく理解し合うためにも、その関係を継続し相互に考えや情報を交換し合っていくことが大切である。

第3の目的は、教材が国際理解や国際協力の進展に貢献することである。

(5) 方法

児童の通学の様子や学校・家庭での生活の様子をあらわしたスライドを作成してもらうように、ウィンターグリーン小学校の教師に依頼した。その作業を容易にするためにも、私達は、日本人の生活様式や生活習慣がうかがえる、また地域の人びとが自然環境と調和しながら生活している様子がうかがえる、日本の田舎の小学校の典型的な一日の生活の様子を写したスライドをもっていった。

私達は、ウィンターグリーン小学校の教師と協力してどのような教材を開発することが必要かについて、現地の協力者であるブレント博士と話し合った。そして、児童が異なる民族的背景をもった友達とどのように遊んでいるのか、放課後をどのようにすごしているのかに重点を置いた教材を、両国で共通に作成することが必要であることを確認

し、作成をお願いした。私達は、作成されたそれらの教材を活用しながら、日本の学校で児童が使用するウィンターグリーン小学校に関する教材を開発していきたい。

(6) 現地調査及びワークショップの日程とその主な内容

| 日時 | 日程・場所 | 主な内容 | 協力者 |
|-------|---|--|-----------|
| 8月1日 | | | |
| 10:30 | セントジェームス教会 (UMC) へ向けて出発。 | ○サービスの中に「子どもとともに過ごすひととき」(THE MOMENTS WITH THE CHILDREN)があり、幼年の子ども十数名が司祭と楽しく過ごしていた。ペパロニピザを電話で頼んでチョコレートチップピザが来るという寸劇を通して、電話では間違いも起こるけれども神への祈りであれば間違いは起こらない(大切なものは祈りである)ということ伝えようとしたものと考えられる。 ○小学校高学年から中学生ぐらいの女の子3名が、蠟燭の灯の世話やオルガン演奏の補助、司祭の先導役などの仕事を果たしていた。 | ☆スオーブ教授 |
| 11:05 | セントジェームス教会 (UMC) にて礼拝に参列。 | | |
| 12:05 | 礼拝終了 | | |
| | セントジェームス教会 (UMC) ウェルズ司祭から聞き取り。 「サンデーモーニング教会学校」内部の施設訪問。 | ●上記の仕事を果たす子どものことを「見習い僧(教会奉仕者)ACOLYTE」といい、その宗教を信仰し続けると宣言した子どものなかから選ばれる。当教会では、現在、15人がローテーションを組んでいて、毎週の礼拝で仕事を果たしている。年齢は12才以上でないといけないとのこと(他教会では8才からのこともある)。 ●教会と子どもとのかかわりは、次の段階があるものと思われる。 ①0才から 日曜学校への参加 ②3才から 聖火隊の練習 ③9才まで サービスへの参加 ④12才から 教会奉仕者として | ☆ウエルズ司祭 |
| 12:30 | 聞き取り、訪問終了 | | |
| 13:00 | エルムストリート公園へ出発 | | |
| 13:30 | エルムストリート公園で昼食 Aチーム各々の自己紹介。 | ●2才半と5才の子どもを連れて遊びに来ていた親の話によると、子 | ☆公園内で遊んでい |

| | | | |
|----------------|--|--|------------------------------------|
| | 昼食の後 公園内の観察。 | どもの過ごし方について、次の2点の特徴を指摘できる。 ①小学校以前の子どもたちは、週末、親に連れられて公園へ行くことがよくあるようだ。 ②小学生は、親とともに他州へ旅行する、サマーキャンプに参加する、自宅で過ごす、デイケアセンターに通う、など、様々な夏休みの過ごし方をしている。 | た親子 ☆スオーブ教授 ☆レベッカ教授 |
| 14:50 | エルムストリート公園を出発 帰途 大学キャンパス メディカルセンター 施設訪問。 | ○郡内には、医療施設が整った総合病院は当センターだけであり、日曜日でも駐車場がほぼ満杯になるほどの来院者であった。 ○病院内には、子どもの姿が見られなかった。なお、12才以下の子は病院の許可がないと入れない。 ●日曜日だけが見舞いのできる日であり、来院者の多さは、そのためでもあらうと思われる。 ○泊り込んで看病をする必要がある家族に対しては、付近に専用のアパートが用意されている。 | ☆スオーブ教授 ☆スオーブ教授 |
| 17:15 | ヒルトン・イン 着 ウォル・マートで、5日のパーティでの必要品などを購入。 | ○子どもづれの家族が多い。学校始めに向けての売り出しがあり、学校用品を求める家族が目立つ。 | |
| 18:30 19:00 | 公園でのバンド演奏へ出発 開演 | ○演奏に興じて一緒に踊りだす子どもが多い。極めて自然な雰囲気であり、楽しむことを楽しむ土地柄が感じられた。 ●40マイルほど北にあるサマーキャンプに参加して来たとのこと。これからは、デイケアセンターに通う予定であるとのこと。 | ☆スオーブ教授一家 ☆スオーブ教授の末娘（マリー・キャサリン） |
| 20:05 20:45 | 終演 ヒルトン・イン 着 | | |

| 日時 | 日程・場所 | 主な内容 | 協力者 |
|--------------|-----------|---|---------|
| 8月2日 9:00 | プレゼンテーション | ○提案内容に対するコメント ①当地での社会科カリキュラム内容との関連を図ってほしい。 ②作成した内容については、妥当である。 ③準備がよくなされており、よい | ☆スペンス教授 |

| | | | |
|-------|---|---|-------------------------------|
| 11:20 | 今後の聞き取り・調査及び教材作成についての打ち合せ | スタートをきったと思う。 | ☆ブレント教授 |
| 13:30 | <p>ウィンターグリーン小学校着</p> <p>*ウォード校長からの聞き取り</p> <p>*学校内の施設見学と学習状況の聞き取り</p> | <p>○学校概要と「ノースカロライナ州の学習指導要領（社会科）」にもとづく概要説明</p> <p>①生徒数…776名（郡内で4番目の生徒数）</p> <p>②学区…黒人と白人の人数のバランスを考慮して設定している。黒人51％、白人48％その他1％の比率である。</p> <p>●子どもが興味をもって学習に取り組むことができるように、その学習環境が整えられているという印象を強くもった。主な施設についてその特徴を記すと、次の通り。</p> <p>①カフェテリア 十分な広さと3種類の支払い方法（無料・一部負担・全額負担）によるカードが用意されており、所得格差に対する配慮が伺える。加えて、スクールバス発着場所の近くであり、朝食をとっていない子どもにとって都合のよい配置となっている。</p> <p>②各教室 25名前後の児童数に対して十分な広さが確保されている。なお幼稚園では、手洗いが教室内に設置されていて、生活しやすい環境であると考えられる。</p> <p>③メディアセンター 図書室の機能にコンピュータでの情報検索機能を加え、さらに子ども自身が資料を作成できるよう整えられている。子どもたちは、週2時間（1時間は担任と、後1時間は各々で司書と）の学習をしている。子ども自らの学習意欲を高めようという意図と思われる。</p> <p>④講堂 当日は、デイケアプログラムに利用されていたが、①カフェテリアと電動移動壁で仕切られておりPTAの集まりなどの際は、大ホールとして利用できる。</p> | <p>☆ウォード校長</p> <p>☆ブレント教授</p> |

| | | | |
|-------|--|--|--|
| 16:30 | コープ学部長宅でのレセプション | | |
| 19:00 | 夕食会 | | |
| 補足情報 | <p>●各教室の広さに対して、窓が1つで狭く、出入口も1つだけである。その意図については聴取していないため不明ながら、興味深い。</p> <p>●教室配置が、幼・1, 2・3, 4・5ごとのウイングになっている。植え込みスペース、トイレなど、極めて美しい景観が印象的であった。</p> | | |

| 日時 | 日程・場所 | 主な内容 | 協力者 |
|-------|---|---|---|
| 8月3日 | | | |
| 8:30 | 本日の質問内容についての打ち合せ | | ☆ブレント教授 |
| 9:30 | ウインターグリーン小学校着 | | |
| 9:40 | ①スライド「小学生の一日」視聴(親子) | | |
| 10:00 | ②親へのインタビュー (子どもは別室にてスライドの感想を記述しておく。) | <p>○親が子どもに抱いている願いは、勤勉・幸福になること・親切であることなどであった。日米共通の願いであることが確認された。</p> <p>○スライド内容に対しては、「一輪車、水泳、動植物の飼育栽培」への興味が寄せられた。そこには、子ども個々によって望む者もいれば拒む者もいるだろうのに同一内容を学校で取り入れていることへの驚き(疑念)が感じられた。</p> <p>○「水泳」については、個人で課外に習いに行かせるものである、との理解が一般的であった。</p> <p>○上記のような内容を取り入れた日本の学校は、「家の外にある家」として彼らの目に映ったようだ。</p> | <p>☆マティス</p> <p>☆ナドロネック夫妻</p> <p>☆プライス</p> <p>☆アレン</p> |
| 10:40 | ③子どもへのインタビュー | <p>○記述内容の概要は、次の通り。</p> <p>アマンダ(3年生:女の子)</p> <p>①箸を使うこと</p> <p>②土曜日にも学校にいること</p> <p>ギャレット(4年生:男の子)</p> <p>③スクールバスがないこと</p> <p>④昼食では魚を食べないこと</p> <p>○制服について意見を求めたところ「嫌である。一人ひとりが違う個性を持っているのだから、同じ服では、変である」という反応であ</p> | <p>☆リンズィ</p> <p>☆ブライアン</p> <p>☆ギャレット</p> <p>☆アマンダ</p> <p>☆ジェニファー</p> <p>☆ダニエル</p> <p>☆クリステン</p> |

| | | | |
|--------------|--|--|----------------------------|
| <p>11:35</p> | <p>④教育関係者へのインタビュー ・教育委員会，選抜クラスの教師，郡の副保安官，PTA会長</p> | <p>った。いわゆる個人主義が徹底しているとの印象が強い。</p> <p>○前述の点が「自由」の面だとすると、「規律」の面では次の2点を指摘することができよう。</p> <p>①学級のきまりの遵守 チャイムで席につく，手を挙げて発言する，など基本的な学習規律については，相当に厳格な指導がなされている（守れない場合，廊下を何分か列で歩く，校長室で校長先生の話聞く，カフェテリアでアイスクリームなどをたのめなくなる）。子どもたちは，好きではないものの，守ることの必要については認めているようだ。</p> <p>②家での仕事の励行 皿洗い，掃除，食卓の準備，ベッドメイキングなど，家での仕事についても徹底が図られている。先と同様に，やるまで何回もさせられたり，家から出してもらえなかったりと厳しい。</p> <p>○学校での休み時間は，日本と比べて短い（3分程度）。その過ごし方としては，一人でのキックボール程度で，いわゆる集団遊びはなされていないようだ。</p> <p>○自分の教室を掃除することについては，「たとえ自分が汚したり落としたりしたゴミであっても片付けない。落ちているゴミも同様」という反応を得た。</p> <p>○各々の仕事内容について説明を受け，若干の補足質問をした。教育活動を支える働きとして，各々，次の点が特徴的であった。</p> <p>①PTA会長 ・資金集め…Tシャツ，マグカップなど企画品の販売，古紙あき缶の回収。→コンピュータなどの購入に充てる。なおPTA会費徴収はない。 ・会員の勧誘…活動へ参加する会員数は，300人程度。増加を図っているとのこと。 ・選出方法…前会長による依頼を受け，後に承認を得るシステム（任期は1年）。</p> <p>②郡の副保安官</p> | <p>☆ジョーンズ</p> <p>☆ブラック</p> |
|--------------|--|--|----------------------------|

| | | | |
|-------|---------------------|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・17週にわたり週1時間、5年生を対象に「麻薬乱用防止教育」を実施。このプログラムは、全国規模で行われている（課外での扱い）。 ・麻薬、アルコール、たばこなどが内容。プログラム修了の際には、Tシャツがわたされるが、それを誇りにしている子どもが多い。 | <p>フィッシャー</p> |
| | | <p>③学業優秀生徒担当の教師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IQ120以上の子どもが対象の特別クラス。当該児童は週1日、当クラスで過ごし、週4日は原クラスで過ごす。 ・4～5年で、6人が該当し、新年度は10名程度になる予定。当該クラスで学習には、定まったカリキュラムはなく一人ひとりに即して計画を立てて遂行する（教師の責任において）。 | <p>☆エリントン</p> |
| | | <p>④教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回、会合を開き、教育への要求を聞く場としている。 ・構成メンバーは、次の通り。 12名（男10、女2名） （白人10、黒人2名） ・任期は6年（選挙で選出）。 | <p>☆タフト</p> |
| 14:20 | ⑤教育カウンセラーへのインタビュー | <p>○職務内容と事例について、次の内容を得た。</p> <p>①援助者としての仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習コースの選択 ・親からの相談 ・担任教師からの相談 <p>②仕事の事例（昨年：4年女子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近日中に脳外科の手術を受ける子どもの動揺を軽減するための援助 ・その子どもをとりまく学級の子どもたちへの指導 | <p>☆アン・ジョンソン</p> |
| 14:30 | ⑥2年生の担任教師4名へのインタビュー | <p>○スライド「小学生の一日」を視聴してもらい、その感想を出し合うことを通して、教材・学習材としての妥当性を探った。回答内容及び妥当性についての考察は、次の通りである。</p> <p>①感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の学校では、子どもたちの | <p>☆カートライト ☆ハービー ☆パーカー ☆ワージントン</p> |

| | | | |
|---------------------------|---|--|--|
| <p>15:30</p> <p>18:30</p> | <p>⑦専科及び障害児教育担当者へのインタビュー</p> <p>・LD児学級担任教師，軽度障害児教育担当者，幼稚園遅進児担当教師，音楽科専科教師</p> <p>ウインターグリーン小学校にてビッグ・ピッキング（夕食）</p> | <p>が行われている。例えば，掃除給食の準備，歩いての登校，上級生が下級生の世話をすることなどである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムが異なっている（水泳が課程内にある）。 ・子どものしつけの難しさは同じである（宿題をして来ない，先生の話聞かない）。 ・宿題は低学年で月～木曜日の毎日，30分程度を出している。 <p>②教材・学習材としての妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任，自主性の大切さを扱う教材として興味深い。 <p>○交換教材を作成する視点として，ウインターグリーン小学校の先生方から，様々な生活背景をもった子どもがいること，「多様性」が挙げられた。</p> <p>○児童の10人に1人が学習遅進児と思われLD学級の対象になる。</p> <p>○年に1回，確認のための調査テストをして，3年に一度，障害児学級から該当学年への復帰の可否を判断する。</p> <p>○年の一定期間，原学級に帰る。次年は普通幼稚園に通園する。</p> <p>○k～5年までの全学級の音楽指導を実施している（週1時間）。教材研究が大変（家で半分・学校で半分）で，郡内の同僚教師に電話で相談し情報を得ることもある。</p> | <p>☆アーノルド</p> <p>☆ムアリングサドラー</p> <p>☆エドワーズ</p> <p>☆ロイ</p> |
|---------------------------|---|--|--|

| 日時 | 日程・場所 | 主な内容 | 協力者 |
|-------------------------------------|--|---|---|
| <p>8月4日</p> <p>午前中</p> <p>13:30</p> | <p>ホームステイ先にて過ごす。</p> <p>フラナガン農場へ見学調査</p> | <p>○各家庭における子どもたちの様子を見ると，よくしつけられているという印象を受けた（食事前のお祈り，マナー，大人どうしの会話に介入させない，など）。</p> <p>○朝からゴルフに興じる中学生の子どもたち（白人）。当地の保護者は，子どもの多様な能力や趣味を発見させるよう留意しているように思われる。</p> <p>○フラナガン氏の案内にて，農園各所の見学調査を行った。各所の特徴を記すと，次の通りである。</p> <p>①干し草栽培畑</p> | <p>☆ビッグス一家</p> <p>☆ウイリアム一家</p> <p>☆ロイ一家</p> <p>☆スペインス教授</p> <p>☆フラナガン</p> |

| | | | |
|------------------------|------------------------------------|--|--|
| <p>16:30 17:00</p> | <p>グリーンビルへ帰着 ホームステイ先にて過ごす。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・バミューダとアルファルファを馬用に栽培し販売している。 ②綿畑 <ul style="list-style-type: none"> ・少雨のため次々と結実し収穫は良好。高校生のアルバイトによって収穫されている。 ③タバコ畑 <ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されやすい農業経営の実態を把握できた。今年は少雨の為、葉が枯れ始めている。 ・害虫も発生し始めているものの栽培地域が広大な為、駆除もままならない。 ・刈入れ作業は、機械と人手とが半分半分。機械は、大変に高価で、利用には、限度がある。 ④タバコ乾燥場（倉庫） <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナの倉庫内にユニット式の吊り下げ棒を差し込む構造。 ⑤大豆畑 <ul style="list-style-type: none"> ・安定した収益が得られる優良作物。二毛作が行われている。 ⑥牛・豚飼育場 <ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛と豚の飼育場。豚の排せつ物は、隣接の溜池に貯蔵しスプリンクラーで肥料として散布されている。広大な用地だけに可能な再利用の仕方である。 ○夕食後、50Kmほど離れたキンストンにある球場へ野球観戦。10時近くまで、多くの子どもたちも声援を送っていた。人気のあるスポーツで地元でもあり、日米共通の子どもの姿を見た思いがする。 | <ul style="list-style-type: none"> ☆スペインス教授 ☆ビッグズ一家 ☆ウイリアム一家 ☆ロイ一家 |
|------------------------|------------------------------------|--|--|

| 日時 | 日程・場所 | 主な内容 | 協力者 |
|--|--|------|----------------|
| <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">8月5日</p> <p>9:00 12:00 13:20</p> | <p>ホームステイ先からホテルへ帰着。 イーストカロライナ大学教育学部にてレポート作成 昼食 イーストカロライナ大学</p> | | <p>☆レベッカ教授</p> |

| | | | |
|----------------------------------|--|--|-------------------------------|
| 16:30 16:40 | 教育学部にてレポート作成 ホテルへ向かう。 帰途 スーパーマーケットにて パーティ必要物品を購入 | ○1日のウォル・マートと比べ、子どもの姿が少ない。当店は、食料品主体であることと平日であることに起因するものと思われる。 ○用意しておいた「トントン相撲」が好評であった。子どもたちとの場で行うと、より効果的であったものとする。「生活の理解」を図るうえで、『遊び』の視点をより一層ふまえて教材化する必要があるように思われる。 | |
| 17:00 18:45 19:00 22:30 | ホテルにて 焼鳥の調理 ハジンス教授宅へ向かう。 フレンドシップパーティ ホテルへ帰着 | | ☆イースト カロライ ナ大学チ ーム一同 |
| 補 足 情 報 | ○美しく清潔な道路や緑地帯は、地元企業や団体によるボランティア活動で維持されているとのこと。訪問したウインターグリーン小学校内の美しさと考え合わせると、「美しい環境の中で育つことが美しさを求める子どもに培う」と言えそうである。掃除をしないことを日本で扱う際、留意すべき点であろう。 | | |

| 日時 | 日程・場所 | 主な内容 | 協力者 |
|--|--|--|-------------------------------|
| 8月6日 11:00 13:10 15:10 16:10 17:00 | ガラバルヒルトンホテル 発 ローリーダーラム空港 着 ローリーダーラム空港 発 ワシントン D.C. 空港 着 ホテル 着 夕食 ホテルにて過ごす。 | ○別れはやはり寂しい。Aチーム関係者としてスオーブ教授が見送りに来てくれていた。再会を期す。 | ☆イースト カロライ ナ大学チ ーム一同 |

| 日時 | 日程・場所 | 主な内容 | 協力者 |
|------------------------------|--------------------------|--|---------------------|
| 8月9日 9:00 10:00 | ホテルを出発。 モールオブアメリカに到着。 | ○当地は、スヌービー作者・シュルツ氏の誕生地であり、巨大な人形を配したプレイゾーン(キャンプ・スヌービー)がある。実に多くの親子連れが遊んでいる。近隣地域から訪れる人々が多数いる。 | ☆シンシア ・ロジャ ーズ |

| | | | |
|-------|--|--|------------------|
| 12:30 | モールオブアメリカを出発。 途中 セントポール通過 | ○当地の冬は寒く、30cm程度の積雪は例年のことらしい。建物と建物とが、空中連絡路（2階部分）でつながっている珍しい景観が見られる。その建築費用は、建物所有者と州との折半でまかなわれている。 | ☆モーラー (高校生) |
| 13:00 | ミネソタ大学に到着。 ・ブックセンター ・カフェテリアにて昼食 ・教育学部 ・ミシシッピ河畔緑地 ・医学部 | ○水量豊かに流れるミシシッピ川。その水力を用いた工場が早くから立地したのがよく理解できた。 | |
| 14:20 | ミネソタ大学を出発。 途中 小麦製粉工場 観察 | ○3カ月～1才4カ月までの乳児、1才4カ月～2才9カ月までの幼児、2才9カ月～5才までの幼稚園児の三課程の子どもたちが、同一屋内の独立した部屋で保育されている。非常に施設が整備されており、モデル校との印象が強い。 | |
| 15:10 | ミネソタ大学附属チルドレンケアセンター（プリスクール）訪問 | ○外での保育もよく行われているようで、各部屋には、泥落とし室が別個に設けられていた。 | ☆園長先生 |
| 16:10 | チルドレンケアセンター出発。 | ○各部屋には、多人種の子どもの写真が、子どもの目線に合わせて掲示されている。「色々な肌の色をした人々がいて当然である」ことを自然に伝える意図がうかがわれる（在園の子どもたちも多人種の子どもの構成されている）。 | |
| 16:20 | 某氏宅 到着 | ○先生1人に対する子どもの人数は次の通りである。乳児：3人、幼児：5人、幼稚園児：8～9人。 | ☆某氏 |
| 17:30 | 某氏宅 出発 | | |
| 17:45 | ホテル 帰着 | | |
| 18:30 | ワンゲン氏宅にて バーベキューパーティー | | |
| 21:10 | ホテル 帰着 | ○某氏の子息は出雲女性と結婚とのこと。身近に国際化を感じる。 | ☆ミネソタ 大学チーム一同 |

中学生の世界
～日本とアメリカの学校生活の違いの比較～

| | |
|-----------|-------|
| 広島市立清和中学校 | 松田 和彦 |
| 広島市立落合中学校 | 殿垣内 実 |
| 岩国市立藤河中学校 | 白石真理子 |

I 研究の取り組み

(1) 主 題

『中学生の世界』（日本とアメリカの学校生活の違いの比較）

- ① 1日の学校生活の違い
- ② 主な学校行事の違い
- ③ 校則の違い

(2) 研究員

広島市立清和中学校教諭 松田 和彦
広島市立落合中学校教諭 殿垣内 実
岩国市立藤河中学校教諭 白石 真理子

(3) 研究協力者

- ① イーストカロライナ大学国際理解センター

Don Spence 教授

East Carolina University Greenville North Carolina, NC 27858

☎919(757)4829 Fax 919(757)4813

- ② ファームビル中学校

Dick Cutler 校長、Beverly Peaden 先生、Delane Fuquay 先生

Farmville Middle School Farmville North Carolina, NC 27828

☎919(753)2671

- ③ フランクリン中学校

Birth Jones 校長

Franklin Middle School 1501 Aldrich Avenue North Minneapolis

Minnesota NC 55411 3398

☎627-2869

(4) 研究の目的

日本の中学生は、アメリカ合衆国について、広大な国土やさかんな農工業などの地理

的な知識、またコロンブスのアメリカへの航海やペリーの日本来航などの歴史的な知識、そして日本の最大の貿易相手国とか強大な軍事力などの政治経済の知識などについては多くの生徒がよく知っている。

このことは、日本にとってアメリカが、政治経済を言うに及ばずあらゆる分野において最大の友好国であるために、学校教育の中で多くの教材になっていることやマスコミで常に情報や知識が紹介されているからである。

しかし、アメリカの一般市民の普段の生活のようすや小・中学校での生徒の学校生活のようすなどについてはあまり日に触れる機会が少なく、事前アンケートによっても多くの中学生はこのような内容について知りたいと思っていることが分かった。

異文化理解は、異なった文化に興味関心を持ち、情報を収集し、文献や映像での学習から始まる。さらに理解を深めるためには、できるだけ若いときから、異なった文化に自分で直接に触れたり、経験を共有することが望ましい。そうすることによって、自分の国や文化を客観的に見ることができ、自分の国の良さや改めるべきことなどが明らかになってくるであろう。

そこで、今回の研究では、生徒が知りたいと思っている中学生の学校生活について、具体的に違いや共通点を明らかにすることによって、日米の望ましい学校生活の過ごし方について生徒自身が考える材料を提供したいと思っている。また、生徒が異文化に触れるときの1つの視点として、参考にして欲しいとも思っている。

そして、生徒がそれぞれの国の中学校生活の違いや共通点について考え、気づくことによって将来の日米関係や国際理解がさらに前進することを願い、研究主題を設定した。

II 現地調査日程表

8月1日(日)

10:30 ヒルトンホテルで教会へ行くために、スペンス氏に会う

11:00 マルボロバプチスト教会へ行き、礼拝に出席する

12:00 着替えのためにホテルへ帰る

1:00 エルム通り公園にピクニックに行く

2:30 イーストカロライナ大学構内のドライブ

3:00 休憩のためにホテルへ帰る

5:00 ホテルで夕食

6:00 スーパーカウボーイバンドの演奏を鑑賞するためにサンデー公園に行く

8月2日（月）

- 9:00 ホテルのロビーで、チームパートナーのビバリーさんに会う
チームごとに研究内容の発表会（各チームごと20分）
- 11:00 それぞれのチーム別の研究内容について全体討議
- 12:00 ホテルで昼食
- 1:00 ファームビル中学校を訪問（概要の説明と見学）
- 4:00 休憩のためにホテルへ帰る
- 4:15 コーブル氏宅のレセプションに出発
- 6:30 ホテルへ帰る
- 7:00 市長・教育長殿も参列されての歓迎会へ出席

8月3日（火）

- 9:30 ビバリーさんとディレーンさんの車でファームビル市内の見学
H. B. サッグ小学校、リクレーションセンター（マティーさんとヒンダさんの案内でサマースクールの英語の発音教室を見る）
- 10:30 商工会議所（アニーさんから市の説明を聞き、ビデオをもらう）
フィフティーズ・ソーダ・ショップで休憩
- 12:00 ボニーズカフェで昼食（トミー氏からTシャツをもらう）
- 12:45 ウィリアム宝石店、ベルク百貨店（20%引きのバーゲンセール）
ファームビル家具店、プランチ銀行、ピグリー・ウィグリー食料品店
- 2:20 ファームビル中学校（スライドとビデオを見ながら質疑応答）
- 4:30 ホームステイ先のビバリーさん宅で休憩
- 6:00 豚料理パーティーに出かける。郡立短大のそばを通る
- 6:30 ウィンターグリーン小学校でホームステイホストさんと豚料理のパーティ
- 9:15 ビバリーさん宅に帰り、家族の人々と交流を深める
- 11:30 就寝



ファームビル中学校



ファームビル商店街



ホームステイ一家

8月4日（水）

8:00 ビバリーさん宅で朝食

8:30 説明準備のため早めにファームビル中学校へ行く

9:30 中学生と会い、日本の中学校のスライドやビデオを見て、日本とアメリカの学校の共通点や違いなどの意見交換やアンケートへの記入

習字教室で遊ぶ（自分の名前などを書いて喜んでいた）

13人の生徒から校則の違いなどについてのインタビュー

12:30 キングバーガー店で昼食

1:30 フラナガン農場に行く

（フェリア氏、グレッグ氏、フラナガン夫妻、ビバリーさんの主人と会う）

グレッグ氏のご好意で白石氏と松田氏はセスナ機に乗せてもらって、空から広大な綿花・とうもろこし畑をみせてもらった。

2:30 フラナガン親子の案内で大農場を見学させてもらった

家畜舎内の馬とアルファルファ種とバミューダー種の干し草

バミューダー種の牧草地。綿花畑・たばこ畑・大豆畑

チキンスネークが出る（噛むことがあるが無害）

たばこ貯蔵庫（ボイラーで乾燥させて煙草にする）

牛とぶたの飼育舎

4:20 たばこの集荷所（外国の取引人が買い付けるたばこ袋の山を見る）

4:30 余暇を楽しむ

ファームビルゴルフセンターでゴルフ。近くの池でコオロギを餌にして釣り

7:30 ビバリーさん家族とディレーンさん親子と一緒にピザハット店で大ピザの夕食

8:45 帰宅途中にビバリーさんのお姉さんのスーさん宅に立寄る

9:20 近所の81歳になるファリオさん宅に立寄る

9:45 アメリカのマイホームに帰る

（一晩泊めていただいたら、もはや家族の一員としての扱いをしていただいた）



日本の学習会



空からのコーン畑



たばこの集荷所

ファームビルでのビバリーさん一家は、最高のホストファミリーであった。またファームビルの人々も優しくて親切で最高の人々であった。私達はアメリカを大好きになり、お世話になった皆様に感謝している。

8月5日（木）

- 8:30 ビバリーさん一家にホテルまでおくっていただいて、お別れをした
- 9:00 イーストカロライナ大学でレポート作成
- 12:00 大学近くのカフェで昼食、その後レポートの続き
- 3:00 ホテルへ戻る
- 6:00 ハジンス氏宅で手製の料理によるフレンドシップパーティ
日米対抗の歌合戦などで楽しむ
- 9:00 ホテルに帰る

8月9日（月） ミネアポリスでの現地調査

- 9:00 パートナーのクリスティンさんの車でミネアポリス市の見学
- 9:30 フォルウエルコミュニティーセンターへ行く。クリスティンさんの家族に会う
- 10:00 フランクリン中学校へ行く（概要の説明と見学）
- 10:30 ミネアポリス市のダウンタウンへ行く。ダウンタウンオープン小学校見学
- 11:30 ミシシッピ河畔へ行く
- 12:30 モール・オブ・アメリカへ行って、昼食と買い物をする
- 4:00 フォートスネリング史跡に行く。開拓時代の砦の見学
- 5:00 ミネハハ滝の見学
- 6:30 ワンゲン氏宅でフレンドシップパーティ
- 9:00 ホテルへ帰る



フレンドシップパーティ



上流のミシシッピ川



フォートスネリング史跡

Ⅲ アメリカと日本の中学校生活の比較

1 1日の学校生活

(1) アメリカの中学校生活

(ファームビル中学校)

(2) 日本の中学校

(広島市立落合中学校)

| | | | | |
|----|-----------|-----------------------------------|-----------|---------------|
| 時限 | 登校 | ～ 8:30 | 登校 | ～ 8:30 |
| | 学級会 | 8:30 ～ 8:55 | 短学級活動 | 8:30 ～ 8:40 |
| 1 | 文学 | 8:55 ～ 10:00 | 美術 | 8:45 ～ 9:35 |
| 2 | 社会 | 10:00 ～ 10:50 | 社会 | 9:45 ～ 10:35 |
| 3 | 数学 | 10:50 ～ 11:40 又は 10:50 ～ 12:00 | 英語 | 10:45 ～ 11:35 |
| 4 | 科学 | 11:40 ～ 12:50 又は 12:00 ～ 12:50 | 体育 | 11:45 ～ 12:35 |
| | 昼食 | 20分 3～4時限の時間に3交替で 食堂に行く | 昼食(各教室で) | 12:35 ～ 1:25 |
| 5 | 英語 | 12:50 ～ 1:40 | 数学 | 1:25 ～ 2:15 |
| 6 | 音楽 | 1:40 ～ 2:30 | 国語 | 2:25 ～ 3:15 |
| 7 | 美術 | 2:30 ～ 3:20 | 清掃活動 | 3:20 ～ 3:35 |
| | スクールバスで下校 | 3:35 ～ | 短学級活動 | 3:45 ～ 4:00 |
| | | | クラブ活動(下校) | 4:00 ～ 5:30 |

* 学級会のあと、生徒個人で選択した
教科を各自で履修する

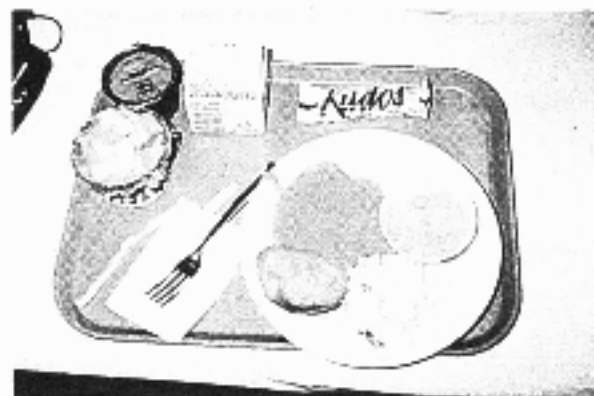
* 1週5日制

* 学級ごとに各生徒は同一の授業で、
履修科目は同じ

* 1週6日制



社会科の授業



自分で選べるランチ



スクールバスでの下校

2 主な学校行事

(1) アメリカの中学校

(ファームビル中学校)

(2) 日本の中学校

(広島市立清和中学校)

| 月 | 行事名 | 月 | 行事名 |
|----|---------------------------------|----|------------------------------|
| 9 | 壮行式 | 4 | 始業式、入学式 |
| 10 | 生徒会選挙、収穫祭、学業試験 ハロウィーン仮装コンテスト | 5 | 野外活動、中間試験、生徒総会 |
| 11 | 感謝祭 | 6 | 修学旅行 |
| 12 | 劇と芝居、クリスマスキャロル (冬休み) | 7 | 期末試験 (夏休み) |
| 1 | | 8 | 壮行式、市総合体育大会 |
| 2 | ダンス集会、歴史発表会 | 9 | 始業式、体育祭 |
| 3 | 科学発表会、学業試験 | 10 | 遠足、中間試験 |
| 4 | 環境保護の日、職業理解の日 海岸までの遠足、クイズ大会 | 11 | 文化祭 コーラス大会 |
| 5 | 綴り字競争 国際理解の日 マーチングフェスティバル | 12 | クラスマッチ、期末試験 保護者会 (冬休み) |
| 6 | 表彰式、体育表彰式 (夏休み) | 1 | 生徒会選挙 |
| 7 | | 2 | |
| 8 | | 3 | 期末試験、卒業式、終業式 (春休み) |



ハロウィーンコンテスト



クイズ大会



マーチングフェスティバル

3 学校のルール

(1) アメリカの中学校

(グリーンビル郡立中学校規律)

① 不敬な又はみだらな言葉遣いとか身振りをよくすると

- ・ 1回目の罰：3～5日の居残り
保護者懇談
- ・ 2回目以降の罰：3～5日以内の
登校停止、保護者懇談

② 授業日に許可なく学校から抜け出ると

- ・ 1回目の罰：3～5日の居残り
保護者懇談
- ・ 2回目以降の罰：3～5日以内の
登校停止、保護者懇談

③ 授業中や屋内での活動中に学校でたばこを吸うと

- ・ 1回目の罰：3～5日以内の登校停止
保護者懇談、たばこを没収
- ・ 2回目の罰
5日以内の登校停止
保護者懇談、たばこを没収

④ 危険な物品などを所持したり使うために置いていたら

- ・ 1回目の罰：即刻に警察に通報
5～9日以上登校停止
- ・ 2回目以降の罰：教育委員会の起訴



日米の社会科教科書

(2) 日本の中学校

(岩国市立藤河中学校)

① 悪い言葉遣いをしてはならない

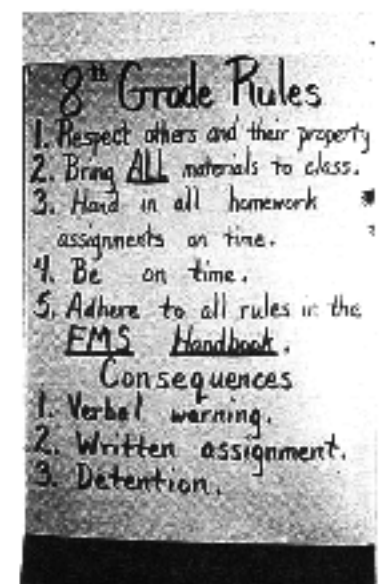
② 先生の許可なく授業日に学校から抜け出てはならない

③ おかしや飲物を学校で飲食してはならない

④ 危険なものを持ったり、遊んだりしてはならない



教室の女子生徒



8年生のルール

IV 研究の考察

アメリカは、合衆国憲法によって、教育は州の責任事項とされており、学校制度やカリキュラムなどは州ごとに異なっており、全体的な日本との比較は困難である。

アメリカの教育の現状は、学校内外に種々の問題を抱いており、80年代以降において、教育改革が現在進行中のようである。

しかし、イーストカロライナ大学があるグリーンビル市のPITT COUNTY管内では落ち着いた学校教育がされており、全米の1つのモデルとされているようである。

我々は今回、グリーンビル市の西隣りのファームビル市（人口約4400人）にあるファームビル中学校（生徒数約600人）の協力で現地調査をすることができた。

この学校は、6～8年生が在籍し、6年生は7学級に別れているが、ベア・イーグル・ドルフィンの3つのチームでチームティーチングが行われている。7年生も7学級あるが、アリゲーター・タイガーという2チームでの教育が行われている。8年生は8学級あって、チャレンジャーというチーム名がつけられている。

(1) 1日の学校生活について

アメリカでは、朝のホームベースという時間だけチームの中の学級の生徒が集まるが、以後はそれぞれの生徒の選択する教科の教室ごとに移動する。午前中は、主として普通教科の授業がされ、午後は技能教科が多い。毎日7時間（1時間は50分授業）の授業があり、週5日制で、週35時間の授業、年間180日の授業日数である。放課後は、先生からの指示で特別に個人指導を受ける生徒以外は、スクールバスで一斉に下校し、クラブ活動は日本のように学校教育活動の中ではふつう行わず、地域に帰ってから個々に行っている。

日本では、昨年から月1回の土曜休日が実施されたが、毎日5～6時間（1時限が50分は同じ）の授業で、週6日制で、週30時間あり、年間240日の授業日数である。朝から終わりまで、学級の生徒は同じメンバーで授業を受け、ふつう1人の教師が学級を担任している。

まず相違点は、1日の授業時数と学級組織にある。アメリカでは、年間の授業日数が少ないために1日の時間数が多い。授業と授業の間の休憩時間はなく、ただ教室移動する時間しかない。昼食は、ランチルームでとるが、2時間の間に3交代で行われ、20分しか食事時間はない。

1日の生活にゆとりがないように思われるが、バスの送り迎えがあり、年間授業計画の中で仕方がないと教師も生徒も思っているようである。

日本では学級王国という言葉があるが、アメリカでは学級は余り重要ではなく、生徒の選択する個々の授業の方が大切なようである。

2つ目の相違は、アメリカでは生徒は清掃しないことである。清掃は業者が行っている。そのためもあって、校舎内はきれいであるが、きれいにしておくコツは、生徒がゴミを落とさないようにさせることだそうである。

アメリカでは、個性の伸長と多様さを教育の柱としているようであるが、反面、日本のように画一化された授業で、ある一定レベルの教育水準が保たれている態勢をアメリカの教師は感心していた。

しかし、日本では知識や技術を伝達する場としての学校は大きな働きをしてきたが、生活の場としての働きは生徒にとっては十分であったとは決して言えない。

(2) おもな学校行事について

それぞれ、月によってさまざまな行事があることは日米共に同じであるが、誰のためにその行事があるかということなどで、3つの相違点がある。

1つは、始業式や入学式などの学校としての儀式はアメリカにはないことである。アメリカには、さあ義務教育が始まったとか、さあ中学生として大人の仲間入りをしておめでとうという意識はないようである。

これは、アメリカにはいろいろな学校制度があって、幼稚園と小学校が一緒にあったり、小学校と中学校が一緒にあったり、6年生から中学校になったり、7年生から中学校になったりして、区切りがしにくいという制度によるのかも分からない。

また、ふつう義務教育は16～18才までとなっており、学校制度で区分していないことも関係しているのかも分からない。

また、アメリカ人は幼い頃から他人に頼らずに生きていける、1個の独立した人間として子どもの成長を願って育てている国民性の違いであるかも知れない。

もう1つは、日本の公立学校ではほとんどないが、アメリカでは収穫祭とか、クリスマスの聖歌を歌うとかの宗教・教会と関わる行事があることである。これは、国民とキリスト教が深く結びついているからであろう。

あと1つは、アメリカでは試験が少ないことである。ふつう1年で3回しか試験がない。日本では、授業してきた学力が定着しているかどうかを見るために、1年で5回以上ふつう試験をしている。そして、それは進学する時の重要な成績とされるので、多くの生徒はよい点数を取るために大きな努力をしている。

しかし、アメリカではその学年のレベルに達していれば良く、入試も成績だけでなく、なぜ進学するのかという論文、そしてどんな活動をしてきたかという先生や知人からの推薦状などで総合的に判断するという制度になっており、日本のように入試のための勉強は必要でないので試験のあり方などにも違いが見られる。

(3) 学校の規則について

大きな相違点は、3つある。

まず、アメリカの規則は、個々の学校毎に別々の規則を作るのではなく、郡内は同一の規則が作られて、入学時に親子にハンドブックとしてオープンになっていることである。

第2は、規則に違反したときの罰則が明記されており、同一地域内ではどの学校でも、どの先生でも同じ指導ができるようになっていることである。

上の2点は、日米の国民性の違いからくると思われる。アメリカは、契約社会の国であるから、規則はすべてオープンになっており、当然契約が守られない時の処置もはっきりしている訳である。契約（約束）は家族生活にも見られ、子どもが親の言うことをきかないときにも、当然に罰則があるという社会背景がある。

第3は、アメリカは個人主義の国なので、個人の権利を大切にするが、人からも権利を侵害されないということが規則の中心となっている。

例えば暴力とか、危険なものを持つとか、たばこやアルコールの行為とか、授業をさぼることなどは社会に迷惑を掛けることだからいけないということで、校則に定めてあるが、授業道具を忘れるとか、遅刻をするなどという細かいことは当たり前のもので、クラスの約束というレベルで決めてあることが多い。

また、人に迷惑のかからない服装や身なり・頭髪などの規定は日本ほどきびしく無い。

V まとめ

今まで、日本の教育は、他国に負けない一定レベルの教育施設を全国一律に保持し、一定レベルの学力を保証してきた。

しかし、画一化された日本の教育のひずみが多方面で見られ、社会も多様化している現状に教育現場はついて行けず、学校の荒廃・学力の低下・不登校生徒の増加など多くの問題が起こっている。

我々は、そういう諸問題を先行的に取り組んできたアメリカに、解決の1つのヒントが求められるのではないかと事前には期待感を持った。

家庭や地域や社会など多くの場面に教育機能はあり、今までの日本の教育のように学習活動も・集団教育も・安全教育も・芸術鑑賞も・食習慣もすべてを学校教育が携わるのではなく、学校教育の使命を狭義の学習活動に絞ることで、アメリカは学校を再生することに成功したのではないかと思っ、我々はアメリカへ出かけ、アメリカの学校関係者と研究協議を行った。

現地調査をしてみると、一人一人が問題解決のために努力をすれば必ず社会は良くなるという理想主義の国のアメリカでも、さらに社会が悪化していることが分かった。

家庭崩壊が進み、離婚率が50%を越え、その結果として基本的な生活習慣（食習慣・服装や身だしなみ・宿題や道具を忘れない・時間を守る）を守れない生徒が増加して、学習活動以前の指導が増えていることが教師の負担になっているということで、原因は別として両国の共通の課題である。

また、アメリカの教師が日本の教育制度との違いで日本の方が優れていると上げたことの1つ目は、同じメンバーで、同じ教科を全員で受ける一斉指導の方が全体のレベルは上がるのではないかということ。2つ目は、1日の日課にゆとりがある（特に昼食時間は落ち着いて食事ができる）。3つ目は、放課後の一斉の部活動は、問題行動をする時間がなくて良いこと、などであった。

しかし、アメリカの教師と接した印象では、どの教師も態度が実に堂々としており、自信を持った姿には感動した。

我々の結論としては、どこの国の教育事情も、いつの時代もさまざまな問題を抱えているが、社会情勢と教育は切り放すことはできず、他国の良い点のみを見るのではなく、マイナス面もあることを理解しなければならないこと。

また、それぞれの教育制度には、歴史的な背景や国民性が表されており、異文化の1つとしての理解が必要で、その上でお互いの長所をさらに伸ばす努力と態度が教師と生徒の両方にとって必要であろうと感じた。

資料1

アメリカの中学校の学校行事

| 月 | 行事名 | 内容 |
|----|----------------------------------|--|
| 9 | 壮行式 | 重要な運動競技大会の前に学校のチームを激励することを生徒にさせる。チームのメンバーを紹介したり、スクールカラーの服を着せたりする。 |
| 10 | ハロウィーン仮装 コンテスト | 生徒はその日は学校で扮装することができる。その日の終わりに審査員が誰が一番良い扮装をしたか決定して、賞を与える。 |
| 11 | 感謝祭野外劇 | 生徒はアメリカ原住民と最初の移住者とが感謝を込めた晩餐会を演じる。生徒は2つの社会の生活や習慣について議論をする。 |
| 11 | 劇と芝居の発表会 | 学年の課程を終えると、生徒は計画を立て、歴史や休暇を扱ういろいろな劇を上演する。 |
| 12 | クリスマス休暇 クリスクリングル (サンタクロース) | 生徒は箱から名前を選び出し、選んだ人のためにプレゼントを買わなければならない。クリスマス休暇の前の最後の日に生徒はパーティを開き、プレゼントを交換する。クリスマスの食べ物や飲み物が用意される。生徒はクリスマスキャロルを歌う。 伝統的なクリスマスの食べ物は(サンタクロース、クリスマスツリー、リースのように飾られた)バタークッキー、ライスクリスピーバー、赤と緑のクッキー、MMキャンディである。クリスマスの飲み物はホットチョコレート、シナモンやナッツメグを入れたホットアップルサイダーである。 |
| 3 | つづり字競争 | おもに小学生に対して行われる。彼らに単語をつづらせてみる。WINSをつづるように言われた彼や彼女は、誰でもみなその単語を正確につづる。 |
| 4 | 環境保護の日 | 生徒は公園や通りに出てきれいに掃除をする。生徒はリサイクルや環境をきれいに保つ必要性について学べる。 |
| 4 | 職業理解の日 | お客(ゲストスピーカー)を招待し、生徒に彼や彼女の仕事について述べてもらう。生徒は彼や彼女の仕事のタイプについて質問できる。そして、おそらく訪問者(お客)の仕事場を訪問できる。 |
| 4 | 絵画コンテスト | 生徒は絵を描いたり色をぬったりするために課題や工夫をしなければならない。賞は種々の部門で1番良い出品物に贈られる。 |
| 5 | 国際理解の日 | 生徒は調査、研究する国を選び、その国について発表する。その土地の服装、食べ物、儀式など。 |
| | ペンパル(文通友達) | 生徒は年配の人か病院にいる人と文通友達ちになり、元気づけるために彼らに手紙やカードを贈る。 やがては、生徒は文通友達ちに会う。 |

資料 2

Greenville Public Schools Secondary Discipline Code

| Unacceptable Student behavior | First Offense | Second Offense |
|--|---|---|
| 1 Open defiance of authority | 1 day in-school suspension. Parent/guardian conference. | 2 days in-school suspension. Refer for counseling. Parent/ guardian |
| 2 Continued willful disobedience | 2 days in-school suspension. Parent/guardian conference. | 3 days in-school suspension. Parent/guardian conference. |
| 3 Physical assault upon another person | 3 days out-of-school suspension. Parent/guardian conference. | 3-10 days out-of-school suspension depending upon severity. Notify parent that next offense will seek alternative placement. Refer to appropriate program. |
| 4 Assault upon a teacher, administrator, board member, or employee | Refer to police, immediate out-of-school suspension pending school board action, 21 days maximum. | |
| 5 Fighting or minor assault | 3 days in-school suspension. Parent/guardian conference. | 3-10 days out-of-school suspension depending on severity. |
| 6 Extortion | May involve police. Notify administrator. Out-of-school suspension until parent/guardian conference. Refer for counseling. | (Third Offense) 10 days out-of-school suspension pending school board action. |
| 7 Defacing, destruction or damage to school property | 5 days administrative detention. Parent/guardian conference. Restitution. | 5 days in-school suspension. Parent/guardian conference. Restitution. Refer for counseling. |
| 8 Truancy | Refer to appropriate program or services. | |
| 9 Habitual use of profanity, obscene language, or gestures | 3-5 days administrative detention. Parent/guardian conference. | 3 days in-school suspension. Parent/guardian conference. |
| 10 Threats to school personnel. | 5-10 days out-of-school suspension depending on severity. Parent/guardian conference. Notify police. | Pending school board action. 10- 21 days out-of-school suspension. Notify police. Notify administrator. |
| 11 Harassment of students to faculty. | warning | Parent/guardian conference. |
| 12 Inciting to riot | Refer to police, immediate out-of-school suspension pending school board action, 21 day maximum. | |
| 13 Threats to another student. | 5 days general detention. Parent/guardian conference. | 3-5 days in-school suspension. Parent/guardian conference with student and administrator. Refer for counseling. |
| 14 Leaving school grounds at any time during the school day without permission. | 3-5 days administrative detention. Parent/guardian conference. | 3 days in-school suspension. Parent/guardian conference. |
| 15 Possession, custody or use of any items, commodities or products that are considered dangerous. (drugs, alcoholic beverages, firecrackers, etc.) | Immediate notification of the police. 5-9 days out-of-school suspension. | School board action. |
| 16 Distribution of controlled dangerous substances. | Immediate notification of police. Indefinite suspension pending school board action. | Recommend expulsion. |

| | | | |
|----|---|--|---|
| 17 | Possession, custody or use of a weapon. "weapon" means anything readily capable of lethal use of or inflicting serious bodily injury or pain. | 9 days out-of-school suspension. Notify police pending school board action. | |
| 18 | Throwing or projecting dangerous objects. | 3 days in-school suspension. Contact parent/guardian. Refer for counseling. | 3 days out-of-school suspension. Parent/guardian conference. |
| 19 | The use of actions which are disruptive to the academic atmosphere of the building. | 3-5 days in-school suspension. Parent/guardian conference. | 3 days out-of-school suspension. Parent/guardian conference. Warning and refer for counseling. |
| 20 | Cutting class | TEACHER WARNING, No credit for days work. | Teacher to inform parent/guardian. No credit for days work. |
| 21 | Cutting detention | 2 days for 1 administrative detention. | Notify parent/guardian. 2 days for 1 administrative detention. |
| 22 | Cheating | No credit for days work. Teacher-parent/guardian conference. | No credit for days work. Administrative detention. |
| 23 | Smoking in school building during regular school hours and other indoor activities. | 3-5 days in school suspension. Parent/guardian conference. Confiscate cigarettes. | 5 days in-school suspension. Parent/guardian conference. Confiscate cigarettes. |
| 24 | Under the influence of drugs or alcohol. | 3 days out-of-school suspension, student not to be readmitted without parent/guardian conference and proof that child is undergoing counseling or treatment. | |
| 25 | In unauthorized area during school hours(loitering). | 5 days in-school suspension. | 5-10 days in-school suspension. Parent/guardian conference. |
| 26 | Unexcused lateness in class. | Teacher-student conference. | Teacher contacts parent/guardian and gives detention. |
| 27 | Starting fires. | Indefinite suspension pending psychological evaluation. Notify parent/guardian. | Refer to special services. Expulsion proceedings. |
| 28 | False alarm/bomb scare | Notify police immediately. 10 days out-of-school suspension. Notify parent/guardian. | Notify police. Refer for child study and legal hearing. 10 days out-of-school suspension. |
| 29 | Stealing/theft | Immediate notification of police. 5-9 days out of-school suspension. Notify parent/guardian. Make restitution. | Notify police. 5-9 days out-of-school suspension pending board action. Make restitution. |
| 30 | Inappropriate display of affection. | Parent/guardian conference. | Parent/guardian conference. Refer for counseling. |
| 31 | Inappropriate sexual physical contact. | 3 days out-of-school suspension. Parent/guardian conference. Refer for counseling. | 5 days out-of-school suspension. Parent/guardian conference. Refer for counseling. |
| 32 | Possession of pornography. | Parent/guardian disciplinary conference. | Parent/guardian conference. Refer for counseling. Notify guardian that next offense results in child study. |
| 33 | Damage to school personnel's property. | 5-9 days out of-school suspension pending school board action. Repair, replace, make restitution of property. | |
| 34 | Unexcused lateness to school. | Warning | Warning. Notify parent/guardian. |
| 35 | Forged signatures/school forms. | Parent/guardian conference. 3-5 days in-school suspension. | Parent/guardian conference. 5 days in-school suspension. |
| 36 | Other | the principal in all other cases will take appropriate action. | |